



スタートは宇治川



流れの速い三川合流付近



参加無料



水制工やわんどを過ぎる



枚方のゴールは目の前！

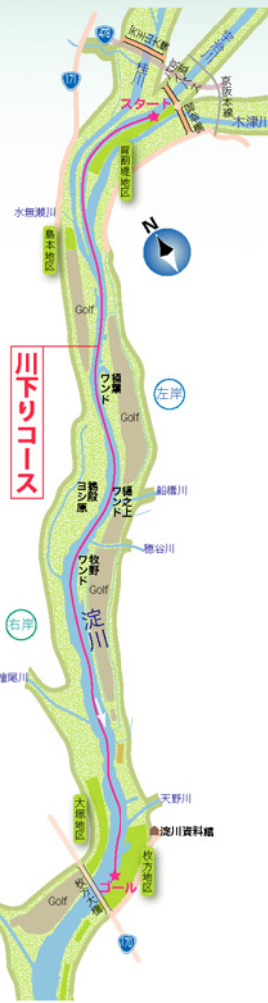
Eボートで淀川下り！

～Eボートに乗って背割堤地区～枚方地区間をゆったりパドリング～

かつて淀川では舟運が盛んでした。平安貴族の足として、また秀吉以降は京都・大阪を結ぶ手段として重宝され、明治の蒸気船導入でさらに発展し、舟運は交通手段として一時代を築きました。しかしその後の鉄道開通、路線網の広がりとともに、舟運は消えていくこととなりました。

近年、川を交通手段として見直す機運が興っています。阪神淡路大震災後の陸上交通の脆弱さが後押ししました。淀川には緊急時用の船着場や高水敷の道路が整備され、淀川を交通路として見直す事業が進められてきました。自治体や民間事業者でも、舟運復活をめざす取り組みが行われています。今、私たちは川と人との関わりを再認識し、昔のように、川と親しみ、川との付き合いを深めていく時に来ています。

淀川河川公園ではこの秋より、淀川の舟運を体験してもらう、Eボートを使った川下りを始めます。コースは八幡市の背割堤地区宇治川河畔から枚方市の枚方地区までのおよそ10km。前半は流れにのる川下り、後半は手漕ぎを楽しむ約1時間30分の舟の旅です。江戸時代に三十石船から描かれた兩岸絵図の風景を想い、今も残る豊かな自然を体感してください。



淀川を身近に感じ、淀川への思いがふくらみ、大切に思える旅となるでしょう。

Eボート体験を募集します

定員8人のEボートを2艇で16人。1日に午前午後各1回、合計2回出艇しますので、合計32人の募集です。現在実施日程は未定。詳細は決まり次第、淀川河川公園のホームページでお知らせします。

団体申込みも受け取ります

学校ほか淀川での水辺の学習や自然学習に興味をお持ちのグループなどより、体験希望を受け付けます。

[申込み・問い合わせ]

淀川河川公園 守口サービスセンター
TEL.06-6994-0006

Eボートとは？

川や湖などの水辺で人々が交流(Exchange)することによって、水辺や流域の環境(Environment)をゆっくりと見直し、考え直すきっかけを作り、エコライフ(Eco-life)を促進させるために開発されたボートです。(全長6.5m・全幅1.4mの10人乗りゴム製手漕ぎカヌー。前後に2名のRACインストラクターが同乗するため、ピジター定員は8人となります)



